

- | | | | | |
|------|---|------------------------------------|-----|-----------------------|
| 校訓 | 盡己 | 令和7年度学校通信
「松中だより」
第2号 | 発行日 | 令和7年4月16日 |
| 教育目標 | 未来を創造し、たくましく生きる生徒の育成
成へ地域・家庭とのつながりによる
レジリエントな学校を目指して～ | | 発行者 | 伊丹市立松崎中学校
校長 今井 克己 |

令和7年度松崎中学校学校教育目標、重点】

表面の「これからの伊丹の教育」を受けて、今年度名松崎中学校の教育目標、重点をお伝えいたします。よろしくお願いいたします。

令和7年度 学校教育目標

未来を創造し、たくましく生きる生徒の育成
～地域・家庭とのつながりによるレジリエントな学校を目指して～

1 めざす学校像

- (1) 未来・社会に開かれた学びの場
- (2) 生徒、保護者の思いをくみ取り、温かい人間関係を築く場
- (3) 学校、家庭、地域協働による子育ての場

2 めざす生徒像

- (1) 目標に向かい、主体的に行動する生徒 「探って究める松中生」
- (2) 自他を大切にする生徒 「笑って話せる松中生」
- (3) 物事に集中し、粘り強く取り組む生徒 「歌って歩ける松中生」

令和7年度教育実践の重点

- ・自律と主体性を育む取組を進める
- ・教育活動の基盤となる「社会性と情動（心）」の育成に取り組む

1 授業（教育活動）改善

(1) 主体的に学ぶ生徒の育成

主体的な学びを実現する授業改善

個性や能力、興味関心に応じて多様で柔軟な学び方を支援

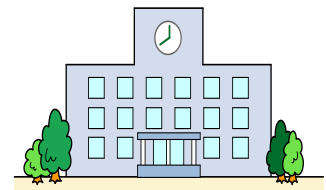
(2) 学力向上

基礎基本の定着に向けた学習タイムの実施

I C Tを活用した個別最適な学びを進める

(3) 教育活動全般の生徒の参画体制の構築

やりがい → 自信 → 自尊感情



2 生徒指導・教育相談の充実

予防と早期発見・早期対応に重点を置く

(1) 「社会性と情動（心）」の学びに取り組む

(2) 日常的な教育相談

「ふりかえる帳」の有効な活用、日常的な声かけ

(3) 不登校対策

居場所づくりと学習支援

校内教育支援センター（相談室）の活用

ふれあい相談員、不登校対策支援員、SC、SSW との連携



3 保護者、地域との連携強化

(1) 保護者の思いに丁寧に寄り添う

(2) 情報発信、情報交換を通して課題を共通認識

(3) 学校運営協議会（PTA、地域）との連携強化

